

令和7年度使用

# 中学校用教科用図書研究資料

社会（歴史的分野）

宮崎県教育委員会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成されており、学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、歴史的な見方・考え方の手がかりになるコーナーなどを基に追究し、最後に「チェック&amp;トライ」コーナーに取り組むことで1時間の学習を振り返る構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、とびら・導入ページ、本文・特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっており、「問い」を軸にして課題解決的に追究していくような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料をきっかけとした深い学びのための「THINK!」コーナーなどを基に追究し、最後に「確認!」「表現!」コーナーに取り組むことで学習内容を深める構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、単元の見通しページ、毎時の学びページ、単元(章)の振り返りページとなっており、学習の見通しと振り返りがしやすいような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料活用アイコン等を基に追究し、最後に「確認しよう」「説明しよう」コーナーに取り組むことで、知識の確実な定着や表現力等の育成を促す構成・配列の工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、扉「日本史と世界史の帯年表」のページ、本文ページ、まとめのページとなっており、世界史を含めた歴史全体の流れをつかむことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を基に追究し、最後に「ステップアップ」コーナーに取り組むことで深い学びを促す構成・配列の工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、学習のはじめにページ、本文ページ・まとめとふり返りのページとなっており、生徒が問いを立て、学習の見通しと振り返りができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」コーナーなどを基に追究し、最後に「確認」「表現」コーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入ページ、本文ページ、章末に調べ学習・復習問題・時代の特徴を考える・対話とまとめの図のページとなっており、章全体を構造的に関連付けて構成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単元時間ごとに学習課題が設定され、キャラクターのセリフにより示唆する学習のポイントを活用して追究し、最後に「チャレンジ」コーナーに取り組むことで簡単な知識の整理ができる構成・配列の工夫が見られる。</p>
227 育鵬社	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、導入の活動ページ、本文ページ・特設ページ、学習のまとめページとなっており、課題を解決していく学習過程の流れを明確にして学べるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文の理解を助ける写真や表・グラフ・図・コラムなどで追究し、最後に「確認」「探究」コーナーに取り組むことで学習内容の定着を図る構成・配列の工夫が見られる。</p>
229 学び舎	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、扉(導入)ページ、本文ページ、ふりかえるページとなっており、世界の歴史を背景に、日本の歴史の流れを大きくつかめるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、大きな絵画資料などを活用して追究し、章や部のまとめでは学習したことを比較・関連付けながら表現させる活動を通して深い学びにつなげるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
236 令 書	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章の構成は、本文ページ・特設ページ(コラム)、章のまとめページとなっており、我が国の歴史の特色や歴史の連続性をより実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 縦書きで構成されており、小見出しごとに学習課題が設定され、本文の理解を助ける写真・図・コラムなどで追究し、最後に「まとめ」コーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、対話を通して深い学びを実現するための活動例を、本文やまとめのページに配置し、本文での学習内容の理解を確実にし、話し合いなどの対話的な活動を促すための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、紙面を導入の資料→学習課題→本文→チェック＆トライの流れで構造化したり、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用して整理したり、グループ学習「みんなでチャレンジ」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、現代的な5つの課題における克服のための取り組みを扱い、持続可能な社会の形成や課題解決のための意識と態度を育てるための工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、第1章2節では、対話的な学びの進め方の例を具体的に掲載し、その後の学習において「対話的な学び」を自ら進んで展開できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、各時間の最後に学習を振り返る「確認」コーナーを設けたり、適宜設けられた資料内容を読み取る「歴史の技」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、学習したことを活用して表現する「表現！」や各章の最後に学習を振り返る「学習のまとめと表現」ページを設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻末で既習内容を活かして、現代社会の課題について、SGDsの視点から問い・調査・考察・発表・交流する学習活動を紹介するなどの工夫が見られる。</p>

46 帝 国	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各章の「章扉」や「タイムトラベル」を活用し、単元全体の学習の見通しを立てて学びを進めていくことで、主体的な学習を促すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、見開き2ページが構造化された紙面構成になっていたり、基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、巻頭「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」で、学習で有用な思考ツールを紹介したり、それを用いる場面を多く設定したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、最終単元では、歴史的な背景を踏まえた、社会参画への態度を養うための現代社会の諸課題について解決策を考える活動を行うなどの工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、「歴史を考えよう」のコーナー、各章のまとめなどで、さまざまなパターンの豊富な発問を通して、生徒の主体的で対話的な学習活動を促すための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、難しい用語と同ページに用語解説のコーナーを設けたり、因果関係を説明するために関係のあるコラムを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、各単元の学習課題、ステップアップの課題、図版に付した発問など、各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身に付けられるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、各時代の展開や、文化財保護の取り組みを理解する「地域からのアプローチ」が設けられており、歴史を学ぶことの意味を考えさせるなどの工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、教科書の「編（章）の問い」や「節の問い」に対する予想や学習後の考えを記録するワークシートを設け、学びの成果や自己の成長を振り返り、学習内容を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、1授業時間を見開き2ページとし、「何を学ぶのか」を学習課題で明確に示し、「確認・表現」コーナーで、学習を確かめるための問いを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、各章末に「まとめとふり返り」を設け、時代の特色をまとめさせたり、考察する際に活用できる思考ツールを随所に設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、よりよい未来を考えるに当たって、先人がどのように課題を解決しようと取り組んできたのかを学ぶコラムや特設ページを設けるなどの工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、大型のコラム記事など、生徒が興味のある歴史的事象を自らさらに深く学び考えられるような素材を随所に配置するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、簡単な知識の整理をするために單元ごとに「チャレンジ」というコーナーを置き、章末に復習問題のページを配置して基礎的な用語や知識の定着を図るなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、各章の章末において、生徒の探究をうながす課題学習のページや時代の特徴を考えさせるページを設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題など、学んだことを自分で構造化するレッスンの場を設けるなどの工夫が見られる。</p>

<p>227 育鵬社</p>	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各章・節・本文ページには、単元を通した問いとして「章の課題」「節の課題」「学習課題」を設け、生徒自身が日々の学習内容に見通しをもてるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、「歴史絵巻」で歴史の大きな流れを「鳥の目」で大観したり、その章で学習する絵画や写真を細かく見る「虫の目」で捉えさせたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、各章末に「学習のまとめ」を設け、各時代を年表で整理し、多面的・多角的に時代像をまとめることができるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、主体的に社会の課題を追究、解決し、その発展に寄与した先人の取組を資料やコラムで紹介するなどの工夫が見られる。</p>
<p>229 学び舎</p>	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、大きく鮮明な図版や記述で構成されていたり、歴史を体験するというコーナーが設けてあったりするなどの生徒の関心や対話を引き出す工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、歴史の具体的場面や時代を生きる人びとの姿を通して各時代の特色を理解できるようにしたり、各章末に地図や年表などを配置したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、体験や活動等を通して思考を深められるような課題を設定したり、各時代の特色を多面的・多角的に考察して表現するコーナーを掲載したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、近現代史学習において、生徒自らが歴史的事象を今日の社会と結びつけ、現代の課題に向き合うための工夫が見られる。</p>

236 令 書

- (1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、グループでの調べ学習の手順や方法、ディベートの行い方などまとめ学習における対話が広がるような学習方法の紹介をするなどの工夫が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、巻末に解説付きの大きな写真資料を豊富に配置したり、時代ごとの各国の変遷を理解させる世界地図を掲載したりするなどの工夫が見られる。
- (3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、各時代の章末において、まとめを行うコーナーを設け、その中で政治・文化・外交・産業の4つの観点でまとめさせるなどの工夫が見られる。
- (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、我が国の光と影の両面を学ぶことで、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養うなどの工夫が見られる。

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各ページの定位置にある「二次元コード」から学習段階に応じ、「ワークシート」や「活動ツール」などのデジタルコンテンツを活用することができ、生徒の学びを深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、各ページ下の「チェック＆トライ」で1時間の学習をふり返った後、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、各章や節のまとめと、そのまとめを基にした探究課題の解決が効率的に行える工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章の導入や振り返り、「歴史の技」にある「まなびリンク」から、学習場面に応じた、動画やクイズ、リンクを見ることができ、生徒の関心・意欲を高め、理解や習得を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認！表現！」で1時間の学びを振り返り、さらに、各章の学習を振り返る「学習のまとめと表現」では、3段階の構成で、基礎・基本の定着とともに、次の章への準備を効率的に行える工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章・節の始まりや振り返りにある「二次元コード」から、学習内容の定着や生徒の調べ学習を支える多彩なコンテンツを活用して、生徒の個別最適な学びを支援する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認しよう・説明しよう」で1時間の学びの振り返りができる。さらに、各章末尾の「学習を振り返ろう」で各章・節の問いについて考えさせ、各時代の特色の考察が効率的に行える工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、「二次元コード」から、拡大した掲載資料や動画を見ることができ、各ページに設けられた発問に対する思考のヒントを与え、理解をより深められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「ステップアップ」で、1時間の学習内容を踏まえた発展的な学びにつなげている。章末の「まとめ」では、様々なパターンの発問を通して、生徒の主体的・対話的な活動を促す工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各ページの定位置にある「二次元コード」から、多彩なコンテンツを見ることができ、中でも、「ポートフォリオ」は系統的に配置し、生徒の個別最適な学びに繋がる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認・表現」で、1時間の学習をふり返ることができる。さらに、編末の「まとめとふり返り」では、習得した知識の確認のあと、各編・節の問いに答えることで、時代の特色を考えさせる工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、見開きのページの概略的な記述内容を、さらに深める大型のコラム「もっと知りたい」を配置し、生徒の興味・関心を高めることで、深い学びにつなげる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「チャレンジ」で、1時間の知識の整理ができる。さらに、章末に「調べ学習⇒復習問題⇒時代の特徴を考える⇒対話とまとめ図」のページを設け、段階を追って時代を大観させる工夫が見られる。</p>
227 育鵬社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章の冒頭にある「二次元コード」から、動画を閲覧したり、学習に役立つ情報を収集したりすることで、興味・関心を高め、生徒の個別最適な学びや協働的な学びに繋がる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開き最後の「確認・探究」で、1時間の振り返りができる。さらに、章末の「学習のまとめ」では、様々な資料の読み取りを通して、学習内容を整理し、多面的・多角的に時代の全体像を考えさせる工夫が見られる。</p>
229 学び舎	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文の太文字をなくすことで、生徒の主体的な学習を促すとともに、大判サイズの教科書に掲載した大きな図版を観察させることで、様々な発見や疑問が出てくるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、見開きの本文内容を、各時代を生きる人の姿に焦点化し、各時代をイメージしやすくしている。さらに、章や部末の「ふりかえる・学習のまとめ」では、基本的な知識の定着や、各時代の特色を考察させる工夫が見られる。</p>

236 令 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文を縦書きにするとともに歴史の転換点を独自に設定したり、扉絵をイラストで表したりするなど、読書するような楽しみを見出しながら、興味・関心を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、本文の時代の転換時には「先土器時代以前」や「平成時代」という見出しを設けている。さらに、各章末に「まとめ学習」を配置し、政治・文化・外交・産業別に時代の特色をまとめ、全体像を掴ませる工夫が見られる。</p>
---------	--